

# 2004年3月期 決算概要

2004年5月13日

株式会社プロトコーポレーション

証券コード:4298

# 連結損益計算書



(単位 :百万円)

	2003年3月期		2004年3月期				前年同期対比		計画対比	
	実績 (A)	売上比	計画 (B)	売上比	実績 (C)	売上比	(C)- (A)	%	(C)- (B)	%
売上高	19,217	100.0%	20,835	100.0%	20,781	100.0%	1,563	108.1%	54	99.7%
売上原価	9,863	51.3%	10,403	49.9%	10,435	50.2%	571	105.8%	31	100.3%
売上総利益	9,354	48.7%	10,431	50.1%	10,346	49.8%	991	110.6%	85	99.2%
販売費及び一般管理費	8,172	42.5%	8,617	41.3%	8,363	40.2%	191	102.3%	254	97.1%
営業利益	1,182	6.2%	1,814	8.7%	1,982	9.5%	799	167.6%	168	109.3%
経常利益	1,228	6.4%	1,722	8.3%	1,927	9.3%	698	156.9%	204	111.9%
当期純利益	661	3.4%	914	4.4%	867	4.1%	205	131.1%	47	94.9%

金額は百万円以下を切り捨てて表示しております。

## ■ 売上高 (前期対比 108.1%、計画対比 99.7%)

前期対比 108.1% (1,563百万円増)の主な要因は、プロトコーポレーションにおける売上増(1,123百万円)ならびに前期中(2002年10月)に100%子会社化したリペアテック出版の売上高が通期で寄与したことによるものであります。

プロトコーポレーションにおける売上増の主な要因は、前期中に創刊した媒体の売上高がそれぞれ通期寄与したこと、インターネット関連の売上高が増加したことによるものであります。

なお、リペアテック出版の売上高については、2003年3月期 622百万円(7ヵ月分)、2004年3月期 :1,090百万円となっております。

## ■ 売上原価 (前期対比 105.8%、計画対比 100.3%)

前期対比 105.8% (571百万円増)の主な要因は、プロトコーポレーションにおいて、前期中に創刊した媒体の売上原価が通期で発生したこと、海外旅行情報誌「Vee TRAVEL」の創刊(2003年6月創刊・同年8月休刊)に伴う仕入コストの発生によるものであります。

## ■ 販売費及び一般管理費 (前期対比 102.3%、計画対比 97.1%)

前期対比 102.3% (191百万円増)の主な要因は、リペアテック出版の販売費及び一般管理費が通期で発生したことによるものであります。計画対比 97.1% (254百万円減)の主な要因は、プロトコーポレーションにおいて、社員数が計画を下回ったことによるものであります。

## ■ 営業利益 (前期対比 167.6%、計画対比 109.3%)

前期対比 167.6% (799百万円増)の主な要因は、売上高の増加ならびに原価率及び販管費率の抑制によるものであります。

なお、営業利益、経常利益、当期純利益ともに過去最高益となっております。

# 販売費及び一般管理費の状況



(単位 :百万円)

	2003年3月期		2004年3月期				前年同期対比		計画対比	
	実績 (A)	売上比	計画 (B)	売上比	実績 (C)	売上比	(C)- (A)	%	(C)- (B)	%
販売費及び一般管理費	8,172	42.5%	8,617	41.3%	8,363	40.2%	191	102.3%	254	97.1%
人件費	3,523	18.3%	3,829	18.3%	3,685	17.7%	161	104.5%	144	96.2%
広告宣伝費関連 1	2,175	11.3%	2,035	9.7%	1,977	9.5%	198	90.8%	58	97.1%
その他経費	2,473	12.9%	2,752	13.2%	2,701	13.0%	227	109.2%	51	98.1%
社員数 2	592	-	621	-	568	-	24	95.9%	53	91.5%
契約社員数 2	56	-	53	-	50	-	6	89.3%	3	94.3%

- 1 広告宣伝費関連には、広告宣伝費ならびに販売促進費の合計値を記載しております。  
 2 社員数・契約社員数は、3月期末時点での在籍員数であります。

金額は百万円以下を切り捨てて表示しております。

## ■ 人件費 (前期対比 104.5%、計画対比 96.2%)

前期対比 104.5% (161百万円増)の主な要因は、リペアテック出版における人件費が通期で発生したことによるものであります。

計画対比 96.2% (144百万円減)の主な要因は、プロトコーポレーションにおいて、社員数が計画を下回ったことによるものであります。

## ■ 広告宣伝費関連 (前期対比 90.8%、計画対比 97.1%)

前期対比 90.8% (198百万円減)の主な要因は、情報誌媒体の認知度向上に伴い広告宣伝戦略の一部見直しを図ったことによるものであります。(後掲資料7頁参照)

## ■ その他経費 (前期対比 109.2%、計画対比 98.1%)

前期対比 109.2% (227百万円増)の主な要因は、リペアテック出版の子会社化に伴う経費の増加によるものであります。

# セグメント別 売上高及び営業利益



(単位 :百万円)

	2003年3月期			2004年3月期			前年同期対比			
	売上高		営業利益	売上高		営業利益	売上高		営業利益	
		構成比			構成比			%		%
自動車関連情報	17,971	93.5%	4,270	18,774	90.3%	4,856	803	104.5%	586	113.7%
情報登録・掲載料	15,650	81.4%	-	15,938	76.7%	-	288	101.8%	-	-
情報提供料	2,320	12.1%	-	2,835	13.6%	-	515	122.2%	-	-
生活関連情報	979	5.1%	1,463	1,749	8.4%	1,417	770	178.6%	45	-
不動産	178	0.9%	49	176	0.8%	45	1	99.1%	4	90.9%
その他	88	0.5%	11	80	0.4%	27	8	90.5%	39	-
管理部門	-	-	1,685	-	-	1,473	-	-	212	-
合計	19,217	100.0%	1,182	20,781	100.0%	1,982	1,563	108.1%	799	167.6%

情報登録・掲載料 情報誌への広告掲載料、データベースへの登録料等  
 情報提供料 情報誌販売、コンテンツ提供料

金額は百万円以下を切り捨てて表示しております。

## ■ 自動車関連情報

売上増(803百万円)の主な要因は、プロトコーポレーションにおいて、インターネット関連商品の売上高が増加したこととリペアテック出版の売上高が通期で寄与したことによるものであります。

また、営業利益についても、広告宣伝戦略の見直し等により、前期対比 113.7% (586百万円増)となっております。

## ■ 生活関連情報

売上増(770百万円)の主な要因は、プロトコーポレーションにおいて、前期中に創刊した媒体(『ee SCHOOL首都圏版、東海版、関西版)の売上高がそれぞれ通期で寄与したこと、新媒体(海外旅行情報誌『ee TRAVEL』、ビューティ情報誌『ee Beaute』)の創刊によるものであります。

また、営業損失が前期と変わらない主な要因は、海外旅行情報誌『ee TRAVEL』の創刊に伴うコストが発生したことによるものであります。なお、同誌については、2003年8月をもって休刊いたしております。

# 地域別売上高

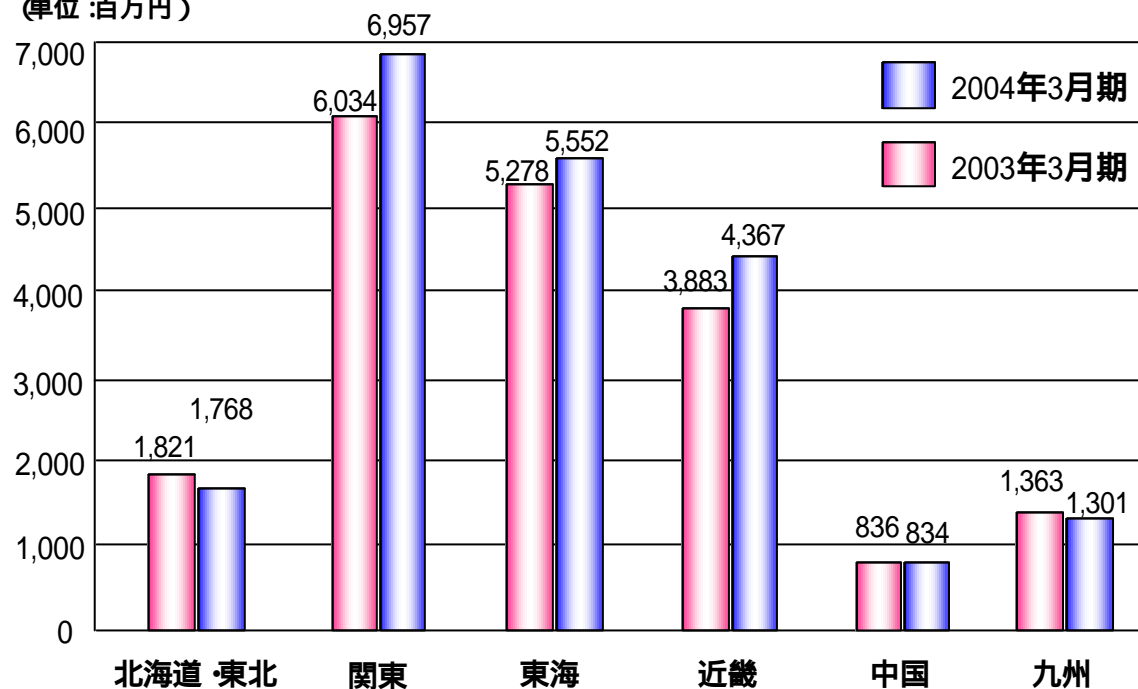


(単位 :百万円)

	2003年3月期		2004年3月期		前年同期対比	
	(A)	構成比	(B)	構成比	(B) - (A)	%
北海道・東北地区	1,821	9.5%	1,768	8.5%	53	97.1%
関東地区	6,034	31.4%	6,957	33.5%	923	115.3%
東海地区	5,278	27.5%	5,552	26.7%	274	105.2%
近畿地区	3,883	20.2%	4,367	21.0%	483	112.5%
中国地区	836	4.4%	834	4.0%	2	99.8%
九州地区	1,363	7.1%	1,301	6.3%	62	95.4%
合計	19,217	100.0%	20,781	100.0%	1,563	108.1%

金額は百万円以下を切り捨てて表示しております。

(単位 :百万円)



## 最近3年における創刊媒体

GooBike 関東版	◎2001年8月 創刊)
GooBike 東海版	◎2001年8月 創刊)
GooBike 関西版	◎2001年8月 創刊)
GooBike 九州版	◎2001年9月 創刊)
GooWORLD 関東版	◎2001年9月 創刊)
GooWORLD 中国・九州版	◎2002年2月 創刊)
GooParts	◎2002年3月 創刊)
GooWORLD 北海道・東北版	◎2002年7月 創刊)
VeeSCHOOL 東海版	◎2002年8月 創刊)
VeeSCHOOL 首都圏版	◎2003年1月 創刊)
VeeSCHOOL 関西版	◎2003年1月 創刊)
VeeTRAVEL	◎2003年6月 創刊) 2003年8月 休刊
VeeBeaute	◎2004年2月 創刊)

# 連結貸借対照表



(単位:百万円)

	2003年3月期		2003年9月期		2004年3月期		増減 (B)-(A)
		構成比	(A)	構成比	(B)	構成比	
流動資産	6,716	46.7%	7,470	48.5%	7,558	48.2%	87
固定資産	7,668	53.3%	7,934	51.5%	8,145	51.8%	211
流動負債	5,355	37.2%	5,960	38.7%	6,218	39.6%	257
固定負債	1,428	9.9%	1,383	9.0%	1,155	7.4%	227
少数株主持分	72	0.5%	89	0.6%	93	0.6%	4
株主資本	7,529	52.3%	7,972	51.7%	8,237	52.4%	265
総資産	14,385	100.0%	15,405	100.0%	15,704	100.0%	298

金額は百万円以下を切り捨てて表示しております。

## ■ 流動資産の増加 (2003年9月期対比 87百万円増)

主な要因は、現金及び預金の増加 (192百万円) によるものであります。現金及び預金の主な増加要因は、事業利益の増加によるものであります。

## ■ 固定資産の増加 (2003年9月期対比 211百万円増)

主な要因は、プロトコーポレーションにおける、長期性預金の増加 (300百万円) によるものであります。

## ■ 流動負債の増加 (2003年9月期対比 257百万円増)

主な要因は、リペアテック出版における、未払金の増加によるものであります。

## ■ 固定負債の減少 (2003年9月期対比 227百万円減)

主な要因は、リペアテック出版における、役員退職慰労引当金の減少によるものであります。

## ■ 株主資本の増加 (2003年9月期対比 265百万円増)

主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

# 設備投資及びキャッシュ・フローの状況



(単位:百万円)

	2003年3月期	2004年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	260	2,186
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,066	829
財務活動によるキャッシュ・フロー	351	312
現金及び現金同等物の期末残高	3,163	4,208

設備投資額	502	133
減価償却費	175	188

連結キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、3ヶ月以内に償還期限の到来する短期資金からなっております。  
金額は百万円以下を切り捨てて表示しております。

## ■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

プロトコーポレーションにおける、税引前当期純利益の増加、法人税等の支払額の減少等により、2,186百万円となっております。

## ■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

プロトコーポレーションにおける、定期預金への預入れによる支出等により、829百万円となっております。

## ■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

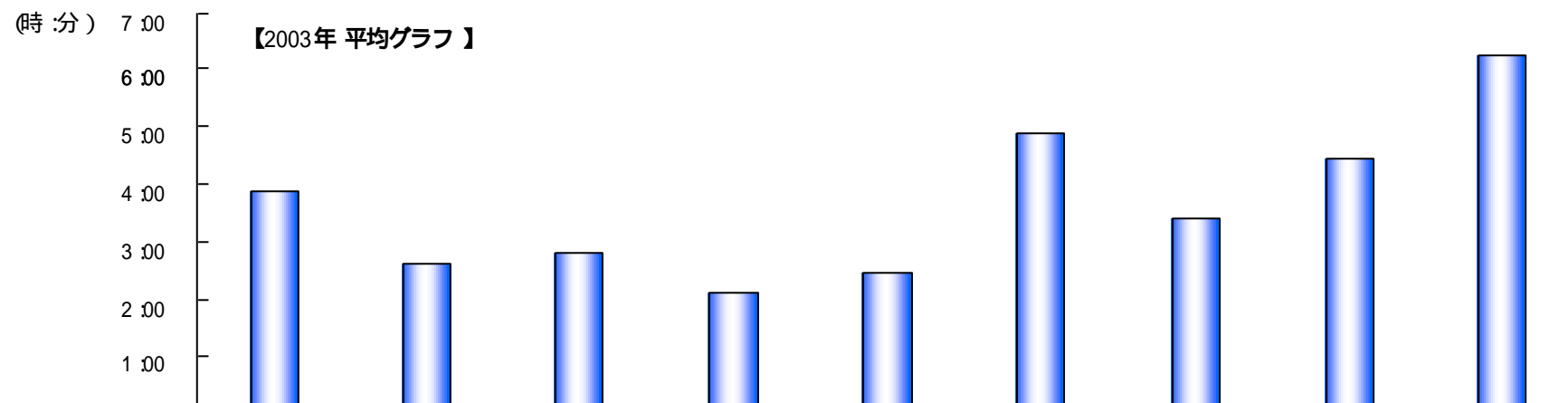
プロトコーポレーションにおける配当金の支払と、子会社における長期借入金の返済による支出等により、312百万円となっております。

## GOOの浸透度(知名度)に関する調査概要

	男 25～29才		男 30～34才		男 35～39才	
	2002年	2003年	2002年	2003年	2002年	2003年
GOO(全国)	79.0%	81.0%	81.1%	83.3%	79.5%	84.3%
競合誌A(全国)	56.2%	74.0%	58.7%	74.1%	60.2%	77.9%

(出所 Video Research MAGASCENE)

## 関東地区における一人当たりのTV平均視聴時間(1日/6時～24時)



		個人全体 (4才以上)	男女 4～12才	男女 13～19才	男 20～34才	男 35～49才	男 50才以上	女 20～34才	女 35～49才	女 50才以上
平日 平均	2003年	3時間59分	2時間34分	2時間51分	2時間10分	2時間24分	4時間58分	3時間21分	4時間25分	6時間04分
	2002年	4時間01分	2時間44分	2時間53分	2時間14分	2時間28分	4時間45分	3時間20分	4時間54分	6時間08分
	2001年	3時間53分	2時間55分	2時間34分	2時間11分	2時間36分	4時間33分	3時間22分	5時間01分	5時間59分

(出所 テレビ調査白書2003)



## 将来予測について

本資料で提供されているIR情報には、将来の見通しに関する情報が含まれています。これら歴史的事実以外の情報は、当社グループが属する業界の競争、市場、諸制度にかかるリスクや不確実性による影響を受ける可能性があります。その結果、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および推測に基づく見込みは、将来における実際の成果及び業績とは異なる場合があり得ることを、ご承知おきください。

## お問い合わせ先

株式会社プロトコーポレーション

名古屋市中区葵一丁目23番14号

TEL 052-934-1519 FAX 052-934-1750

<http://www.proto-g.co.jp>

[ir@proto\\_gco.jp](mailto:ir@proto_gco.jp)

IR担当 / 経営企画室 鈴木